

## 優良現場の紹介

1. 表彰年度：平成24年度
2. 事業場名：株式会社大林組  
パレスホテル地下通路工事事務所
3. 工事名：東西線大手町駅パレスホテル建替計画連絡出入口新設工事
4. 発注者名：株式会社パレスホテル

5. 工事概要：本工事はパレスホテル東京の建替計画に伴い、地下鉄大手町駅のC13出入口と地下通路で接続するものである。
6. 埋設管状況：下水管：φ350～φ1800  
水道管：φ250、φ300  
東電管路：洞道2m×2m 他  
ガス管：低圧φ300、中圧φ600  
NTT管路：5条6段 他

施工場所：東京都千代田区



## 7. 表彰の対象となった具体的内容

- 1) 同じ断面内に埋設物が輻輳して敷設されているので、各施工段階で埋設物管理者と施工方法について協議を重ね、相当の労力と時間を費やして安全に施工している。
- 2) 老朽化した管路に対しては標準防護方法に加えて、協議の上で補強を施しながら防護を実施している。
- 3) 大型埋設物が重層構造で敷設されているため、埋設物ごとの点検通路を整備し、安全に点検が行えるよう可能な限りステージのような広い構造としている。更に、資機材の投入開口が埋設物に近接している箇所では、埋設物と資機材の接触防止の措置を講じている。
- 4) 重要幹線の埋設物が多いため、維持管理として防護の点検を徹底しており、修理・補修の記録や、地震後の点検の記録がある。隔月の店社パトロールにおいても埋設物点検状況の確認をしており、埋設物に対して店社が一体となって取り組んでいる。
- 5) 配置社員や職長全員が日建連の埋設物事故防止の講習を受講している。また、根入れのない鋼矢板を明示し、吊防護等の荷重の制限を行っている。
- 6) 道路工事のための緊急資材とは別に、工具やクリップ等埋設物防護のための緊急資材を複数用意し、埋設点検通路上に配置して緊急時にすぐに対応できるようにしている。